

世界史研究推進委員会

共同研究「高大連携」および「世界史への興味・関心を育む教材・指導法の研究」経過報告

神奈川工業高等学校 中山拓憲

2015年度も世界史推進委員会は、おおむね二か月に一回のペースで、神奈川工業高校、鎌倉学園高等学校を主な会場に委員会を開催しました。加えて、高大連携講座を中心に様々な研究発表活動を行いました。関係各位の皆さまには、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。2015年度の活動を報告させていただきます。

・委員会例会

定例の委員会では、大阪大学歴史教育研究会編『市民のための世界史』（大阪大学出版会）のコラムページを題材にした研究発表を行いました。各担当の先生が、コラムをもとにさらに研究をすすめ、さらに教材化事例を考え、それについて深い議論を行うことができました。来年度は南塚信吾・秋田茂・高澤紀恵責任編集『新しく学ぶ西洋の歴史：アジアから考える』（ミネルヴァ書房）の読書会を行っていく予定です。

諸先生方におかれましては、校務ご多忙の折とは拝察いたしますが、今後とも研究大会並びに社会科部会各委員会への参加をよろしくお願いいたします。一人でも多くの先生方が気軽に参加して頂けることをお待ちしております。

・AAWH・全歴研

今年度は3年に一回行われる AAWH（アジア世界史学会）が5月29～30日にかけて、シンガポールで行われました。世界史研究推進委員会のメンバーも参加してパネルを担当しました。テーマは“Teaching Migration History to High School Students: Problems and Practices in Japan”（「高校生に教えるヒトやモノの移動の歴史—日本における実践と問題点—」）でした。石橋功（司会者）、澤野理（まとめ役）、福本淳（発表者）の各先生方と、残念ながら欠席した佐藤雅信先生の研究を代理で発表した神田基成先生が参加しました。各国の参加者から多くの質問が寄せられ、有意義なパネルになったと思います。

また7月29日から31日まで東京大学で開催された全歴研第56回研究大会においても福本淳先生が「世界史の中の横浜中華街」というテーマで発表を行いました。

第8回「高大連携の試み」 鎌倉学園中学校・高等学校（2015年8月3日～5日）

テーマ「近世のアジアをどう教えるか」

午前中は、神奈川県立・私立の生徒を対象に高校教員（黒崎洋介、智野豊彦、大久保敏朗）と大学の先生方（桃木至朗、長谷部圭彦、杉山清彦）による講義が行われました。生徒からの質問には講義内容を深く理解した鋭いものが多く、会場をおおいに盛り上げました。アンケートを見るかぎり、満足した生徒が少なくなかったようでした。また午後の研究討議では、県内外の多くの公立・私立高校、大学関係の先生のご参加を頂き有意義な議論を交わすことができました。

・研究発表

社会科部会歴史分科会研究発表会（2016年3月10日（木））地球市民かながわプラザ

「世界史上における日本の植民地支配」

鎌倉学園高等学校 神田基成

県立神奈川工業高等学校 中山拓憲